

2026年度 第1回  
近畿大学おおさかメディカルキャンパス臨床研究審査委員会  
議事録

開催日時：2026年4月7日(火) 17時00分～17時15分  
開催場所：近畿大学病院(Web会議システム「Zoom」)

【出席者】◎委員長 ○副委員長

氏名	所属	性別	構成要件	設置機関の内外別	出欠
◎平瀬 主税	近畿大学病院 臨床研究センター	男	1	内	○
○光富 徹哉	近畿大学医学部 革新的医学講座	男	1	内	○
田中 宏和	近畿大学病院 輸血・細胞治療センター	男	1	内	○
谷崎 潤子	近畿大学病院 腫瘍内科	女	1	内	○
福岡 和也	ベルランド総合病院	男	1	外	○
加藤 有加	四国がんセンター 呼吸器内科	女	1	外	○
国本 聡子	澤上古谷総合法律事務所	女	2	外	○
岩江 荘介	宮崎県立看護大学	男	2	外	○
奥野 弘明	株式会社NTTデータ関西	男	3	外	○
岡野 倫子	社会福祉法人和泉福祉会特別養護老人ホームひかりの園	女	3	外	○

【事務局】岩見、木村、三宮、江藤(臨床研究課)、  
佐藤科長代理、今一(臨床研究センター)

【陪席】井川研究グループ長(臨床研究課長兼務)、源(臨床研究センター)、廣瀬、津田(臨床研究課)、

★委員の構成要件(数字は各号を示す):

- 1 …医学又は医療の専門家
- 2 …臨床研究の対象者の保護及び医学又は医療分野における人権の尊重に関して理解のある法律に関する専門家又は生命倫理に関する識見を有する者
- 3 …1及び2に掲げる者以外の一般の立場の者

★委員会開催の成立要件及び適合の有無(当委員会は、次に掲げる基準をすべて満たすことで成立)

- ・上記各構成要件の委員がそれぞれ1名以上出席していること (適合)
- ・委員が5名以上出席していること (適合)
- ・男性及び女性の委員がそれぞれ1名以上出席していること (適合)
- ・設置機関に所属している委員が出席委員の半数未満であること (適合)
- ・設置機関に属しない者が2名以上出席していること (適合)

★委員の出欠

- (出席し、かつ当該研究等に関与しない委員) \*すべて Web での出席  
×(欠席した委員)

＜開催宣言＞

- 委員長/事務局より、Web会議システムによる参加委員の出席をカメラ及び音声で確認の上、近畿大学おさかメディカルキャンパス臨床研究審査委員会（以下、KOMC-CRB）規程の委員会開催要件が満たされていることが報告され、開催が宣言された。
- 委員長より、本日の委員会資料及び議事の進め方について説明があった。
- 委員長より、委員が利益相反のある研究については審議及び決議の際に退席する旨が説明された。
- 会場の Web カメラは、「ON」、マイクは、ご発言時に「ON」、それまではミュートと説明があった。

【議事】

1. 審議事項(1件)

(1) 重大な疾病等報告 ＜特定臨床研究＞

受付番号	KOMC-001
課題名	重症敗血症における腎代替療法中のフィルター寿命延長のための前希釈法の効果に関する無作為比較臨床試験及び炎症反応の観察研究 PRISE study
統括管理者 研究責任(代表)医師	篠崎 広一郎(近畿大学病院 救命救急センター 主任教授)
実施医療機関	近畿大学病院
受付日	2026年3月12日
審議・採決に不参加の 委員及びその理由	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり
説明者	篠崎 広一郎(近畿大学病院・救命救急センター・主任教授)
審査結果	<input checked="" type="checkbox"/> 承認 <input type="checkbox"/> 継続審査( <input type="checkbox"/> 次回、簡便な審査可) <input type="checkbox"/> 不承認

○委員長は、本研究と利益相反関係にある委員がいないことを確認した。

○委員長より概要の説明があった。

- 変更内容は研究計画書、同意説明文書、モニタリング手順書の修正であり、主要評価項目に関わる変更ではないことを確認した。
- 尿酸値の測定値を優先使用とし、尿の残余検体を研究に使用する旨を追加する。
- 用語の定義で有害事象の対象期間を明確化(試験中から試験開示終了・治療開始日等へ)する。
- モニタリング手順書は、課題名の変更と重複内容を削除する。

○すべての委員は、委員長の説明に基づき、実施計画等に関する意見・質問を行った。

○委員長は、報告内容に関して、委員から追加の照会事項がないことを確認した。

○委員長の説明後、内容について審議が行われた。

○審議の結果、全会一致で ＜ 承認 ＞ となった。

本変更申請に関する審査結果について、挙手による採決の結果、以下の通りとなった。

- 承認:全会一致
- 不承認:なし
- 継続審査:なし

以上より、本変更申請について ＜ 承認 ＞ とすることが決定された。

総評:

審査結果:＜承認＞

意見・指示事項:なし

2. 報告事項(2件)

- 本年度より、委員会は定期開催とする(原則毎月第1火曜日 17時～)。予備日として第4火曜日、または必要に応じて臨時開催がある。
- 新たに一般の者の立場で参加する委員候補者を紹介する。

3. その他 2026年度第2回 KOMC-CRB 開催予定(通算8回目) 2026年4月28日(火) 16時45分～

以上

2026年度 第2回  
近畿大学おおさかメディカルキャンパス臨床研究審査委員会  
議事録

開催日時：2026年4月28日(火) 16時55分～17時50分  
開催場所：近畿大学病院(Web会議システム「Zoom」)

【出席者】◎委員長 ○副委員長

氏名	所属	性別	構成要件	設置機関の内外別	出欠
◎平瀬 主税	近畿大学病院 臨床研究センター	男	1	内	○
○光富 徹哉	近畿大学医学部 革新的医学講座	男	1	内	○
田中 宏和	近畿大学病院 輸血・細胞治療センター	男	1	内	○
谷崎 潤子	近畿大学病院 腫瘍内科	女	1	内	○
福岡 和也	ベルランド総合病院	男	1	外	○
加藤 有加	四国がんセンター 呼吸器内科	女	1	外	○
国本 聡子	澤上古谷総合法律事務所	女	2	外	○
岩江 荘介	宮崎県立看護大学	男	2	外	○
奥野 弘明	株式会社NTTデータ関西	男	3	外	○
岡野 倫子	社会福祉法人和泉福祉会特別養護老人ホームひかりの園	女	3	外	×

【事務局】井川研究グループ長(臨床研究課長兼務)、廣瀬、津田、三宮、江藤(臨床研究課)、源、佐藤科長代理、今一(臨床研究センター)

【陪席】木村(臨床研究課)、

★委員の構成要件(数字は各号を示す):

- 1 …医学又は医療の専門家
- 2 …臨床研究の対象者の保護及び医学又は医療分野における人権の尊重に関して理解のある法律に関する専門家又は生命倫理に関する識見を有する者
- 3 …1及び2に掲げる者以外の一般の立場の者

★委員会開催の成立要件及び適合の有無(当委員会は、次に掲げる基準をすべて満たすことで成立)

- ・上記各構成要件の委員がそれぞれ1名以上出席していること (適合)
- ・委員が5名以上出席していること (適合)
- ・男性及び女性の委員がそれぞれ1名以上出席していること (適合)
- ・設置機関に所属している委員が出席委員の半数未満であること (適合)
- ・設置機関に属しない者が2名以上出席していること (適合)

★委員の出欠

- (出席し、かつ当該研究等に関与しない委員) \*すべて Web での出席  
×(欠席した委員)

<開催宣言>

- ・委員長/事務局より、Web会議システムによる参加委員の出席をカメラ及び音声で確認の上、近畿大学おおさかメディカルキャンパス臨床研究審査委員会(以下、KOMC-CRB)規程の委員会開催要件が満たされていることが報告され、開催が宣言された。
- ・委員長より、本日の委員会資料及び議事の進め方について説明があった。
- ・委員長より、委員が利益相反のある研究については審議及び決議の際に退席する旨が説明された。
- ・Webカメラは、「ON」、マイクは、「発言時のみ ON」とし、それまでは「ミュート」と説明があった。

【議事】

1. 審議事項(1件)

(1) 変更申請 <特定臨床研究>

受付番号	KOMC-001
課題名	重症敗血症における腎代替療法中のフィルター寿命延長のための前希釈法の効果に関する無作為比較臨床試験及び炎症反応の観察研究 PRISE study
統括管理者	篠崎 広一郎(近畿大学病院 救命救急センター 主任教授)
実施医療機関	近畿大学病院
受付日	2026年2月2日
審議・採決に不参加の委員及びその理由	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 岡野 倫子(本業が多忙な為)
説明者	篠崎 広一郎(近畿大学病院・救命救急センター・主任教授)
審査結果	<input checked="" type="checkbox"/> 承認 <input type="checkbox"/> 継続審査( <input type="checkbox"/> 次回、簡便な審査可) <input type="checkbox"/> 不承認

○委員長は、本研究と利益相反関係にある委員がいないことを確認した。

○委員長より概要の説明があった。

- 実施計画書で規定されていた透析条件(透析液流量:500 mL/hr)を逸脱し、1,000 mL/hrで実施された事案が短期間に2例(REDCap-ID 1、10)発生し、このたびの2症例を「通常の逸脱」として報告されたものの、連続性があるため「重大な不適合」と修正された。、この経緯から前回審査において「継続審査」とした上で、対応策の検討が求められていた。

○篠崎教授(以下、申請者)より一連の対応に関する説明があった。

- 流量変更は高カリウム血症、アシドーシス、アンモニア上昇等に対する臨床判断によるものであり、患者安全確保のために必要な対応であったこと
- 試験開始前の血液データから流量変更の必要性を予測することは困難で、治療経過に応じた判断が不可欠であったこと
- 逸脱症例を除外する場合、脱落率の増加により必要症例数の再設定や研究期間延長が必要となり、試験の実施可能性および信頼性に影響すること

○すべての委員は、委員長の説明に基づき、重大な不適合報告に関する意見・質問を行った。

各委員からの意見の概要は以下のとおりであった。

- 流量変更により脱落症例が増えると研究対象期間内に必要な症例数に到達しない可能性。あるいは症例数を増やす必要があるのではないか。本研究への信頼性はいかが。(岩江委員)  
(申請者)今回の変更によって研究に疑義が生じるものでないと認識している。
- 流量変更によって、今回の研究の臨床的意義が損なわれないか。(委員長)  
(申請者)意義は損なわれないと考える。
- 流量変更により、フィルター寿命が短くなることが予想されるが、それが研究へ影響する懸念は如何か。(副委員長)  
(申請者)今回の変更に関しては懸念ない。
- 今回の流量の変更(増加)では保険点数を超えてしまう可能性があるが、こちらに関しては如何か。(福岡委員)  
(申請者)保険点数を超える流量を連日実施するわけではなく病態に応じて流量変更する。保険上限を超えるようであれば症記記載等にて、保険診療で対応できるようにしている。

○委員長は、申請者からの報告内容に関して、委員から追加の照会事項がないことを確認した。

○委員長の説明後、今回申請された変更内容について委員のみで審議が行われた。

○本変更申請に関する審査結果について、挙手による採決の結果、以下の通りとなった。

- 承認:全会一致
- 不承認:なし
- 継続審査:なし

○審議の結果、全会一致で「重大な不適合報告(継続審査)」について「承認」となった。

## 2. 報告事項

○委員長より、以下の報告を行った。なお、出席している委員からの疑義照会等なし。

課題名「重症敗血症における腎代替療法中のフィルター寿命延長のための前希釈法の効果に関する無作為比較臨床試験及び炎症反応の観察研究 PRISE study」における開始流量の逸脱による不適合報告。

3. その他 2026年度第3回 KOMC-CRB 開催予定(通算9回目) 2026年6月2日(火) 17時00分～

以上